

第 1 1 回 滝沢市地域公共交通会議 議事録

■日時：令和 2 年 2 月 1 3 日（木） 午前 9 時 3 0 分～午前 1 1 時 5 5 分

■場所：ビッグルーフ滝沢大ホール

■出席委員（18名）（敬称略、順不同）

- 佐野峯 茂（滝沢市副市長）
- 田村 清隆（岩手県交通株式会社）
- 藤原 昌広（岩手県北自動車株式会社）
- 山形 俊三（ジェイアールバス東北株式会社）
- 伊藤 純（公益社団法人岩手県バス協会）
- 大野 尚彦（一般社団法人盛岡地区タクシー協会）
- 山口 実（岩手県交通運輸産業労働組合協議会）
- 川村 尚雄（滝沢市自治会連合会）
- 歳弘 淳（滝沢市老人クラブ連合会）
- 上野 幸子（滝沢市男女共同参画サポーターの会）
- 宗像 次夫（国土交通省東北運輸局岩手運輸支局）
- 四戸 克枝（代理：平野 達士）（岩手県盛岡広域振興局経営企画部）
- 西村 精一（岩手県盛岡西警察署）
- 細田 強（IGRいわて銀河鉄道株式会社）
- 對馬 正則（国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所）
- 田中 傑（岩手県盛岡広域振興局土木部）
- 松本 昭彦（滝沢市都市整備部）
- 宇佐美 誠史（岩手県立大学総合政策学部）

■その他出席者

発表者：13名 アドバイザー：7名 事務局：7名 傍聴人：10名 報道：2名

■配布資料

- ・滝沢市地域公共交通網形成計画【概要版】
- ・滝沢市地域公共交通網形成計画の施策への取組み状況について（事務局報告資料）【資料 1】
- ・交通小需要地区における移動手段の確保について（事務局報告資料）【資料 2】
- ・大学と連携した公共交通施策の展開について「公共交通利用動機付け冊子の検討」（学生発表資料）【資料 3】
- ・かざはやしボランティアの会のチラシ
- ・バスのおでかけたのしくなっちゃうガイド（バスの乗り方教室テキスト）
- ・バス運転手募集のチラシ

- ・ 広報たきざわ 令和元年10月1日号（抜粋版）
- ・ 滝沢市公共交通マップ
- ・ バスの乗り方クリアファイル



1 委嘱状交付

2 開会

3 市長挨拶

第11回滝沢市地域公共交通会議の開催にあたり、挨拶を申し上げます。まず、滝沢市地域公共交通会議の委員をお引き受けくださり、本当にありがとうございます。感謝申し上げます。また、日頃から本市の市政運営にご協力をいただいておりますことに、重ねて感謝を申し上げます。また、敬意を表するものであります。

さて、市では市民にとって利用しやすい地域公共交通ネットワークの実現に向け、平成29年度に策定した「滝沢市地域公共交通網形成計画」に基づき関係機関のご協力をいただきながら各施策に取り組んでいるところであります。近年では高齢化の加速により高齢者や年金受給者など、交通弱者の移動手段の確保が課題となっております。本市におきましても、その実態を把握するためアンケート調査などを実施し、新たな交通サービスの向上に向けて検討を進めているところであります。本日は、今年度を実施した施策の取組内容についてご報告申し上げます。

また、岩手県立大学の宇佐美准教授の授業で一年生の学生の皆さんが検討した公共交

通の利用促進にかかる施策について発表していただく予定であります。2年前には、この会議で発表した学生の皆さんが授業後も自主的に研究を進め、昨年11月に開催されました「岩手県学生IoTアイデアコンテスト」においてその研究成果を発表し、見事最優秀賞を受賞されております。本市におきましてもこのような学生の皆さんの活動にできる限り支援をしていきたいと考えております。また、市の施策にも取り入れていきたいと考えているところであります。

結びに、本日は新たに9人の委員を迎えました。委員の皆様には活発なご協議をお願いいたしまして挨拶とさせていただきます。本日は宜しくお願いいたします。

4 委員紹介

5 会長・副会長選任

事務局：任満了により新たに委員を委嘱させていただきましたので、滝沢市地域公共交通会議設置要綱第5条第2項に基づき、会長と副会長を選任させていただきたいと思っております。

要綱では、会長は委員の皆様から互選により選出することとなっておりますが、どのような方法で選出したらよろしいでしょうか。

委員：事務局一任。

事務局：「事務局一任」というお声をいただきましたが、皆様いかがでしょうか。

委員：異議なし。

事務局：それでは、事務局一任ということですので、会長職は引き続き「岩手県立大学の宇佐美委員」にお願いしたいと考えておりますが、委員の皆様いかがでしょうか。

委員：異議なし。

事務局：それでは、異議がないようですので、宇佐美委員、お願いできますでしょうか。

宇佐美委員：（引き受ける）

事務局：ありがとうございます。それでは、拍手で承認いただければと思います。

委員：（全員拍手）

事務局：ありがとうございます。それでは宇佐美会長、会長の席にご移動をお願いいたします。

それでは宇佐美会長、一言ご挨拶をお願いいたします。

宇佐美会長：引き続き会長を務めさせていただきます、よろしくお願いいたします。ここ数年はこの時期に公共交通会議を開催しており、市長の挨拶にもありましたが、網形成計画の進捗状況を皆さんに議論いただいたり、網形成計画に書いてある中身について一年生の学生が検討した内容をこの場で発表し、皆さんのアドバイス等をいただいております。その中で先程にもありましたが、いくつかは実際表に出てきています。学生が授業の中で、実際世の中で起こっていることについて考え、それが考えるだけで終わらず実現することが学生の成長にとっても、地域にとってもすごくいいことだと思います。今回発

表してもらいますが、また来年度なにかの形で実現できるよう、協議事項の一つとして、委員の皆様から暖かい言葉をいただけるとありがたいと思っております。

今日は協議事項が3つありますが、3番目が学生の発表となっており、1番目は網形成計画の取組状況を見ていただきます。2番目は市長もすごく気にされている、交通小需要地区の移動手段の確保について、今取り組んでいることを報告させていただきます。いずれのところにおいても活発に色々ご意見いただければと思います。では本日2時間程度となっておりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局：ありがとうございました。続きまして副会長ですが、要綱第5条第2項により構成員の中から会長が指名することとなっておりますのでご指名いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

宇佐美会長：副会長の職ですが、私に何かがあっては嫌ですが、自分自身そういうことがないとも言えないので、そういうときに議事進行がスムーズにいくためにも佐野峯委員にお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

事務局：佐野峯委員、よろしくお願いいたします。それでは、協議事項に入らせていただきます。要項第6条第1項により、会長が当会議の議長になることとなっておりますので宇佐美会長、進行についてよろしくお願いいたします。

6 協議事項

(1) 滝沢市地域公共交通網形成計画の施策への取組み状況について

事務局：～「滝沢市地域公共交通網形成計画の施策への取組み状況について」を【資料1】により説明～

宇佐美会長：ありがとうございました。では、只今の報告に対して何かご質問・ご意見ございましたらよろしくお願いいたします。

委員：たきざわバスまつりですが、3,200人来場者がいたということでしたが、どの地区から来たというようなアンケート等は取っていないのでしょうか。

事務局：はい、すみません。取っていません。

委員：そうですね。令和2年度も同じような行事をするようなので、その時ぜひ来場者がどの地区から来ているのかというようなアンケートを取ってほしいです。それから姥屋敷と柳沢の交通について色々調査していますが、アンケートの取り方について、決まった質問に答えるというのも必要なものでこれはこれでいいのですが、もう少し自由筆記欄があって、細かい要望を汲み取れるようなことも考えていただければと思います。以上2点、質問というか要望でございます。

事務局：ありがとうございます。

宇佐美会長：どなたかお答え願います。

事務局：先程ご意見をいただきました柳沢地区と姥屋敷地区のアンケートですが、今回行った調査につきましては、まず1回目の基礎調査という位置づけで進めさせていただきました。来年度以降更なる詳細の調査等を行っていく予定

ですので、その際に皆さんのご意見等を吸い上げていきたいと考えております。

宇佐美会長 : よろしいですか。

委 員 : はい、大丈夫です。

宇佐美会長 : 他いかがでしょう。ちなみにですが、11枚目のスライドにあった、東北運輸局が企画されているおでかけ交通博で、最近は毎年発表させてもらっていますが、これ以外にも金沢で開催された日本モビリティマネジメント会議という、全国のいろいろなところで公共交通の利用促進を特に頑張っている人たちが集まり、活動内容について共有し合う会議に、私も滝沢市も一緒に行きました。こういうところに行くいい点は、他で活動しているいいところを自分で見ることができ、仲間を作ることができます。名刺交換をし、何かあったときに相談や協力を求めたりすることができます。

更には今、北陸3県はコンパクトシティや公共交通がすごく進んでいるので、そういうところも会議に合わせて皆で見に行きました。そのほか、会津若松にも一緒に視察に行きました。こういうことをたくさんやるということはずごくいいことで、なかなか予算的にどの市町村も外に出て行き何かをすることは、結構苦しいのですが、なんとか予算を他からかき集めて行く姿勢がいいなと個人的には感じているところです。なので、今回の報告に入れていたらよかったのになと思いました。

他はいかがですか。それでは次の議事に参りたいと思います。

(2) 交通小需要地区における移動手段の確保について

事務局 : ～「交通小需要地区における移動手段の確保について」を【資料2】により説明～

宇佐美会長 : ありがとうございます。それでは今の説明に対してご質問・ご意見等ございましたらよろしく願いいたします。

先程ありましたが、今回は基礎の基礎調査ということで来年度以降本格的に調査をしていきたいということでした。

特になければよろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは2の議事が終わったところで、3の学生の発表の前に、準備がございますので少し休憩を取りたいと思います。ただいま10時39分ということなので、10時45分より再開したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(3) 大学と連携した公共交通施策の展開について〔網形成計画 施策4-2 ①〕

公共交通利用動機付け冊子の検討

宇佐美会長 : それでは、(3)「大学と連携した公共交通施策の展開について」の発表に入らせていただきますが、始めに授業の概要等について、事務局からご説明をお願いいたします。

事務局 : ～岩手県立大学総合政策学部の授業の概要等説明～

宇佐美会長 : ありがとうございます。若干補足をすると、「学の世界入門」の授業の一

つで、後期10月から週1回、1回あたり90分、これを15回の授業で取り組んでいます。90分の授業の中と、授業以外の部分で個別に集まって取り組んできた結果です。特に専門的な教育を受けたわけではない学生たちが自分たちなりに頑張っただけで答えを出したものを発表してくれます。それでは始めに、「公共交通マップ利用増加 ～転入者に快適な暮らしを～」と題して発表をお願いします。

ア 「公共交通マップ利用増加 ～転入者に快適な暮らしを～」

(岩手県立大学総合政策学部1年 千葉琉宇成、運萬鍊、月舘海人、平井凧未、村井菜々花)

発表者：～「公共交通マップ利用増加 ～転入者に快適な暮らしを～」チームの発表～

宇佐美会長：ありがとうございました。1つ補足ですが、今回転入者向けモビリティマネジメントという言葉をお話ししましたが、これは滝沢に転入してくれた人が窓口で手続きをするときに、いろいろな説明を受けたりいろんなものをもったりしますが、今は公共交通関連ではマップを渡しています。ただそれだけではなかなか公共交通機関を使ってもらう動機にはなり得ないだろうということで、そのマップを活用して公共交通に乗ることを促すようなものをみんなで考えられないかということで、3グループなりの考え方で発表してもらいます。ぜひ温かいアドバイスをいただけるといいなと思いますので、よろしく願いいたします。いかがでしょう。

委員：発表ありがとうございました。まず、改めて交通機関を利用して、それぞれの場所の距離が分かった点がいいなと思います。滝沢市は、今検討中ですが「スマートウェルネスシティ」というものを、正式に自治体でやっていて、健康づくりに力を入れているのですが、健康にはやはり歩くことがいいそうです。こういう冊子を作っていくとき、あまり情報が入りすぎていたり、目的を色々と詰め込もうとすると面白くなるのですが、例えば3ページ、4ページの巣子歯科クリニックは、駅から徒歩19分とあります。これが歩くと3,000歩、というような記載もあると、一日何歩歩こうという参考になる。そういう市の健康政策とちょっと合わせた書き方も使えるかなと思いました。

これからは目的地から目的地までドア to ドアで乗用車ではなく、市役所の駐車場も今新しいのは2～300m離れた所に作って、市役所まで歩かせる、歩けない方はもちろんすぐ近くに駐車場もありますが、そういう考え方もまちづくりになっていますので、公共交通機関も今回を契機にそういうのを見直すとてもいい研究だったと思います。

宇佐美会長：ありがとうございました。他いかがでしょうか。個人的には手書き感がいいなと思いました。

委員：宇佐美会長もおっしゃっていますが、私も手書き感が気に入りました。その中で、エリア別に分けるというのは大変素晴らしい考えだと思いますが、

転入者というのは全体を意味しているのでしょうか。例えば、滝沢の情報がたくさんありますが、病院には若い人はあまり行かないのではないかと思います。若い人向けには飲食店などの情報を載せたり、家族向けにはスーパーや病院を載せたりなど、転入者をグループ分けして、マップを作るのもいいのではないかと思いますので、ご検討いただければと思います。

宇佐美会長：ありがとうございました。ターゲットをどうするかというところは本当に大事ですが、今回最初に申したとおり、15回の授業、1回90分の中でまず一つこういう方法を考えてみたところでございます。

他いかがでしょうか。時間の関係もありますのでこれで1番目の発表を終わりたいと思います。それでは改めて発表者に拍手をお願いいたします。

イ 「使いやすい公共交通マップを目指して」

(岩手県立大学総合政策学部1年 井上諒、立野木の実、村山健介、盛岡春風)

発表者：～「使いやすい公共交通マップを目指して」チームの発表～

宇佐美会長：ありがとうございました。それではただいまの発表に対して何かご質問・ご意見等ございますでしょうか。

このグループは、モビリティマネジメントの動機付け冊子というのを作っていて、その中では最初の方で公共交通を使う動機付けのために、健康にいいことや交通事故の話のような動機付けの話を入れ、具体的にどう行動に結び付けていこうかということで、どうマップを使ってもらおうかという説明になっています。

委員：滝沢市さんが大変優れた公共交通マップを作っていて、それを活用するガイドということで作られたということですので、初めてマップに触れる前にこれを見てもらう内容で、非常にいいと思っております。それで一つ二つ意見を言いますと、今お話が合った意図があまりスパッと分かってこないのので、マップを利用して更にこれをご覧くださいのような一文が表紙などにあればよかったのかなと思います。

また読みやすいようにフリガナがついていますが、フリガナが入ると少し細くなって読みづらい部分があったりします。これは構成の中でも出てくる話だと思いますのでそういうところも含めて、ぜひ滝沢市でも実用化に向けて考えていただければいいなと思います。

アクセス表については、非常にいい工夫だと思っています。おそらく全国に事例があると思いますので、今回時間がなかったということでしたが、事例を見て検討していただき、分かりやすくするとすごく良い表になると思いますので、ぜひそういう工夫を含めて頑張っていただければなと思います。ありがとうございます。

宇佐美会長：温かいメッセージをありがとうございます。他いかがでしょうか。ちなみにこの表紙は手書きですか。

発表者：公共交通マップの表紙を拡大コピーして、スマートフォンで色を塗りました。

宇佐美会長 : 素晴らしいですね。手書きの温かさは大事な所だなと思います。

よろしいですか。それでは「使いやすい公共交通マップを目指して」の発表を終わりたいと思います。発表者に拍手をお願いいたします。

ウ 「滝沢市公共交通の利用促進に向けて」

(岩手県立大学総合政策学部1年 菊池一成、熊谷悠、高橋 嶺菜、三浦早紀子)

発表者 : ~「滝沢市公共交通の利用促進に向けて」チームの発表~

宇佐美会長 : ありがとうございます。それでは最後の発表に対してまた質問・アドバイス等ありましたらよろしくお願いいたします。

ちなみに冊子に入れようとしていた情報は、パンフレットって書いてあるスライドの次の次くらいのものでしょうか。大きさはどんな感じですか。どんな感じで冊子を作ろうとしていたのかを教えてください。

発表者 : パンフレットは、A4サイズで考えています。本当はもう少し利用料などを入れたかったのですが、このサイズだと情報を載せられませんでした。パンフレットを作成する際に、他にも様々な種類、サイズがあったので、デザインを作る段階でサイズを考え、上手く活用ができればもっとたくさん情報を載せられたのかなと思います。

宇佐美会長 : ありがとうございます。よかったら後で相談しましょう。

発表者 : はい、ぜひお願いします。

宇佐美会長 : 他いかがでしょうか。

委員 : 私も20数年前に滝沢市の方に転入してきました。若い人たちは住所を見ただけで、この辺にあるのだと分かりますが、高齢者は見ても分からない。どこに何があるか住所を伝えても分からないです。私は今諸葛川に住んでいますので、ぜひその周辺のマップを作っていただきたいです。よろしくお願いいたします。

宇佐美会長 : ありがとうございます。地域によっては、どこに何があるかを上手く伝えるべく結構困るときがあります。例えば、昔日本海側の福井市に住んでいましたが、福井市ではほぼすべての道路に愛称がついています。そのため、どの道路とどの道路が交差しているところと説明すると大体の位置をつかめたりします。慣れてない人でも道路名を見てもらえば大体分かったりもします。札幌だと、東西南北と数字で位置が表示されています。ただそこは基盤の目になっているのでそういう表示がしやすいというのはあります。地域によって表示の仕方が違ったりするので、余計に道路に何があるというのが馴染みにくいのかなと思います。転入してきたときに、ぱっと分かりやすいようなマップがあると、転入者の人たちにとってはよく思われるかもしれないなど改めて思います。

他いかがでしょうか。よろしければ3つ目の発表を終わりたいと思います。改めて拍手でお願いします。

宇佐美会長 : それでは発表は以上となります。全体を通して委員の皆様から何かござい

ますでしょうか。ちなみにですが、今回「学の世界入門」という1年生後期の授業がカリキュラム改編で、「基礎教養入門2」に変わります。幸い授業の担当をもつことができたので、引き続きこれまでのように滝沢のことをやっていきたいなと思っております。

よろしいでしょうか。では今日ご出席いただいているアドバイザーの皆様、全体を通して何かご意見等ございますでしょうか。

アドバイザー：まず、国土交通省で取組みを進めております地域公共交通網形成計画ですが、宇佐美先生をはじめ、滝沢市職員の皆様、公共交通事業者、関係者の皆様、ご理解とご協力いただき誠にありがとうございます。感謝しております。

中間発表の時にも私は参加させていただいたのですが、あの時は始まって間もないということもあり、今後どういう形でまとまっていくのかなというところがあったのですが、3グループとも成果物として出せるような状況までまとめていただいて、学生の皆様は色々大変な思いをして作ったんだろうなと思いきいなあと思ったところでした。

今公共交通はどちらかというとあんまり上り調子にはなく、利用者が増えないという状況ではありますが、そういったときに最初のグループが、マップの中に目的地を充実させて載せていましたが、今公共交通は公共交通自体を目的に利用するのではなく、目的地に対してどう結び付けていくか、そういった形で公共交通の利用者が増えていくと思っております。なのでマップがあってそこにどう公共交通を結び付けていくかというのを、これからこの3グループをちょうどまとめたようなものを滝沢市さんが進めていき、いつか一つできたらいいなと思ったところでした。

宇佐美会長：ありがとうございます。公共交通には暗い所がいろいろなところがありますが、そういった中で学生が頑張っているというところが暗い中でもとても明るいところではないかなと思います。やっぱりこれで終わってはよくないと思いますので、うまく一つのものにまとめて転入者の人たちにお渡しすることができるように、これから頑張っていければいいなと思います。ありがとうございます。もう一方ぐらいいかがでしょうか。

アドバイザー：私も中間発表から参加させていただいたんですが、そのときからここが変わったなと楽しく見させていただき、こちらも勉強になりました。皆さんの年齢で、このような場面で堂々と発表ができるのがすごいなと、自分を振り返ってそう思います。自分が大学の時にどういった情報が有用だったのか考えながら見ていたのですが、皆さんも公共交通乗ったとき、こういう使い方があるのかと気づいたり、こういった使い方が便利だなとか思ったことがあったと思うので、皆さんが実際にどのように使っているのかという情報があると分かりやすいと思います。また、自分たちで課題に気づけているのもすごいなと思います。

11月にここでバスマップサミットが開かれるようですが、2年前に自分も参加したのですが、日本のバスマップを作るトップクラスの方が来ますので、参加するとこんなすごい大人がいるんだなということが分かると思いま

す。時間があれば参加してみるといいと思います。以上です。

宇佐美会長 : バスマップサミットは1、2回参加したことがありますが、手作りの会で、全国各地から頑張っている人たちが集まってくるので、時間があれば参加してみるといいと思います

他になれば、最後に主濱市長より講評をいただきたいと思います。主濱市長お願いします。

主濱市長 : 委員の皆様、アドバイザーの皆様、ありがとうございます。そして県立大学の学生の皆様ありがとうございました。端的にお話しすると、私たちは公共交通マップを作ったのですが、3グループから共通して、「情報量が多い」という指摘をいただきましたので、必要な情報を精査しながら、見やすい、見る意欲が出てくるようなマップを作っていきたいと思っております。また、転入者のような初めて見る方にもすぐ分かるようなマップを心がけて行きたいと思います。

滝沢市の根本問題があるのですが、皆様、マップをもう一度開いて見ていただきたいと思います。開いていただくと、赤のライン、青のライン、オレンジのラインがあり、交通量が多いほど太いラインなのですが、それぞれの交通の向きを見ていただきたいです。例えば、滝沢市の東端をみるとIGRが走っている、また4号線をバスが走っている、そして南側にはJR田沢湖線が走っている、また46号線も走っています。そして真ん中のピンク色のラインに近いところは、県道223号線という盛岡滝沢線があります。これらに共通するのが、すべて盛岡駅に向かっていくことです。滝沢市は市になって7年目になります。その前の滝沢村のときは、村民は盛岡市に勉強や仕事をしに行き、帰ってきていました。村のときはそれでよかったのですが、盛岡市と同じ「市」になったので、自立すべきところは、自立しなければいけないです。しかし、公共交通はすべて盛岡市に向かっていきます。これでいいのかという問題意識を持っています。今、市役所周辺を中心市街地とする計画があります。まずは中心市街地に市民の足を向けようではないか、各地域が結ばれると横、斜めの交通機関が結ばれるのではないかと考えています。

また、市役所からの報告にもありましたが、姥屋敷や柳沢のような公共交通機関が通っていない地域をどうカバーするかという問題があります。この件は、宇佐美先生にも相談させていただいていますが、例えばタクシーをいかに利用するか、を今後も検討していきたいと考えています。市の問題と、どうやって市民の足を確保していくかという問題がありますが、今、滝沢市は高齢化率が低いですが、将来的には高齢者は増えていきます。そうなりますますます公共交通機関をうまく利用して行かなければならない時代になると思いますので、今日いただいた意見を参考にして、今後さらに公共交通機関を利用しやすいように進めていきたいと思っております。今日はありがとうございました。

宇佐美会長 : 協議事項はすべて終了しましたが、改めて思うのは、滝沢市の公共交通会議のようにこれだけ一同に関係者が集まり、みんな一丸となり考えていくこ

とで、市のよりよい公共交通を目指していけるのだと思います。これから温かくも、時には厳しい意見もありながらも、よりよいものにしていければと思いますので、よろしくお願ひします。それでは、進行を事務局にお返しします。委員の皆さんご協力ありがとうございます。

7 その他

事務局：ありがとうございます。続きまして、次第の7その他ですが、皆さんの方から何かありますでしょうか。ないようなので、事務局の方から、一つ紹介します。

事務局：～「かざばやしボランティアの会」について説明～

事務局：以上、情報提供です。この件について、何かご質問等ありますでしょうか。

委員：先程市長から、タクシーの活用についてお話がありましたが、タクシーも公共交通機関であります。このボランティア運送ですが、ご存じのとおり公共交通空白地は自家用有償運送という制度がありますが、これも難しく本当に公共交通がない場合は、実費程度でボランティアをしてもいいという制度があります。我々盛岡地区タクシー協会の会員は、盛岡市、滝沢市、矢巾町の3つを含めた盛岡交通圏を持っております。乗務員不足等ですぐに配車できない場合もありますが、この周辺の2、3社に確認したところ、事前に予約をしていただければ、対応ができるとのことでした。やはり移動に関しては、安全・安心・確実な交通事業者を利用いただきたいと思います。

タクシーは、今年の8月1日で109年になりますが、ここ2、3年で急激に変化しております。これはオリンピック・パラリンピックの影響ですが、特にスマートフォンでタクシーを呼ぶ配車アプリが全国的に広がっています。今日のような雨の日は、どうしてもタクシーをすぐ配車するのが難しい場合もありますが、そういうときに配車アプリを使って、事業者ごとでなく、エリア全体を見て、一番近いタクシーを配車するというアプリが神奈川県にあり成功しています。我々もICを使って急激に変化している状況ですので、交通小需用地区の実証実験をする場合は、配車アプリを使って相乗りをするということも今後出てくると思いますので、ぜひタクシーも検討して欲しいと思います。

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。事業者さんと地区の活動の両面がありますので、来年度実証実験に向けて調査等を進めて行く際に慎重に検討していきたいと考えています。

その他、特にないでしょうか。それでは閉会にあたり、事務局よりご挨拶申し上げます。

8 閉会

事務局：本日出席者の皆様は長時間にわたりありがとうございます。また学生の皆様に発表いただきありがとうございます。本日いただいたご意見をもとに、来年度交通小需用地区の対策などを検討していくこととしています。タ

クシー協会の会長さんからお話いただいたとおり、交通事業者の皆さんにいろいろとご相談させていただいて、良い形に持っていきたいと考えておりますので、今後ともご指導いただければと思います。本日は大変ありがとうございました。

事務局：以上をもちまして、第11回滝沢市地域公共交通会議を閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。